

三重県

三重県退職校長会

設立 昭和34年(1959年)7月26日

1. 現在までの歩み

昭和34年7月、42名の会員でスタートした本会は、時代の動きや会員数の増加に対応して、組織や活動内容に修正を加えつつ着実に前進してきた。

会員数は、昭和57年度には、1,000名を超え、現在(令和6年度)では、名誉会員(90歳以上)を含め、約2,350名の会員で構成されている。

2. 現 状

総会・講演会を年1回(6月)、役員会を年3回、20支部の理事で構成する理事会を年2回開催している。また、総会への出欠連絡ハガキに、近況や、詩、短歌、趣味、回顧等(170字程度)を投稿いただき、8月に、100ページほどの文集「いきがい」として発刊している。

その他、平成28年度から、会報編集委員会を組織し、「特集」や「会員の広場」等への会員からの投稿を中心に、会報「きずな」を2月に発行している。



3. 改善の動き

- (1) 総会(6月)の開催地は、従来、事務局所在地の津市に固定されていたが、会員により身近な存在とするため、平成26年度の熊野市以降、隔年で地域開催とし、各支部が中心となって会場設営等の準備を進めるようにした。令和7年度で、県内6地域を一巡するが、地域開催は引き続き、継続する予定である。
- (2) 組織の目的を、親睦や福利厚生から、「子ども支援、学校支援、地域支援」へと軸足を移す。会報「きずな」でも、各会員、各支部の活動のようすを紹介し、還流を図っている。
- (3) 最近の教育課題を学び、学校現場の様々な要請があれば一役を担う意思を示す。そのため、引き続き、県教育委員会事務局や現職小中学校長会との懇談を継続する。
- (4) 少子化による学校の統廃合等が進む中、当該校長へのさらなる加入の働きかけに努める。そのためにも、各支部のネットワークを生かし、支部内の現職校長との交流や支部独自の取り組みについて、理事会等で交流を図っていきたい。